

[登録順]

**芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)**

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

商品名	グリーンアージラン液剤	ザイトロンアミン液剤	MCPP液剤	トリメックF液剤	プラスコンM液剤	ワンサイドP乳剤
一般名	アシュラム	トリクロピルトリエチルアンモニウム	メコプロップ	2.4PA	MCPCAイソプロピルアミン塩	フルアジホップP
有効成分含有量	37%	44%	50%	26% 12% 2.5%	40%	17.5%
メーカー	(原体) バイエルクロップサイエンス	コルテバ	バイエルクロップサイエンス	バイエルクロップサイエンス、シンジエンタ、石原産業、日産化学	日産化学	石原産業
	(登録) UPLジャパン	コルテバ、日産化学、石原産業	ニューフーム、ホクサン、丸和バイオ、理研グリーン	日本農薬、東洋グリーン	日産化学	石原産業
試験名		DOWCO-233	NC-102	TG-72	NC-341	SL-236L乳剤
登録年月日	平成22年8月25日	昭和56年8月5日	昭和57年4月1日・昭和57年12月24日・平成22年5月12日	昭和62年10月2日	平成9年3月24日	平成10年12月22日
登録番号	22788	14673～14676	15018・15020・15339・22691	16861・16862	19569	20123
登録上	作物名	日本芝	日本芝(コウライ・ノシバ)	日本芝、西洋芝(ブルー)	日本芝	日本芝、西洋芝(フェスタ・ブルー・ライ)
	雑草	一年生雑草、多年生イネ科雑草*	一年生広葉雑草及び、クローバー、チドメグサ等の多年性広葉雑草	クローバー及び畑地一年生広葉雑草	一年生広葉雑草	広葉雑草、チドメグサ
	使用時期	秋～春期(芝発芽前)、芝生育期(雑草生育初期)、春夏期芝生育期(雑草生育期)*	雑草生育期	雑草生育期	雑草生育期	雑草生育初期(芝生育期)
	薬量	0.4～1.25ml/m ² 、0.8～1ml/m ² *	0.2～0.6ml/m ²	0.5～1ml/m ²	0.4～0.8ml/m ²	0.5～1.5ml/m ²
	水量	0.2～0.3L/m ²	0.15～0.2L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.1～0.15L/m ²	0.2L/m ²
	使用方法	散布(茎葉兼土壤処理)	雑草茎葉散布	全面茎葉散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布
急性経口毒性 LD50(mg/kg)	普:マウス・ラット>12,500	普:ラット1,530	普:ラット♂1,931・♀1,476	普:ラット1,744	普:ラット♂994・♀1,076	普:ラット2,451～3,680
魚毒性TL _m (ppm)	ニジマス>5,000	コイ>40	A:コイ240	コイ328(LC50)	A:コイ1,000以上	B:コイ3.5(48h)、ニジマス1.7(原体)(48h)
水溶解度	590	430	699(20°C)		易溶	1(20°C)(原体)
半減期	約10日	15～30日	約2日		約5日(圃場)	
雑草スペクトラム	イネ科・広葉	広葉全般	一年生広葉	イネ科、一年生	一年生、多年生広葉	ペントグラス
樹木等への影響	一部樹種影響大	ドリフト注意	ドリフト注意		ドリフトに注意	ハイビシャクシン類への飛散注意
洋芝への影響	影響大	温度により影響あり	ブルーグラス登録有	ペントグラス・ハイビシャクシンには薬害有り	温度による影響有り	微量でも薬害有り
作用機作	成長部位の破壊	生体内のバランスを搅乱	生体内のオーキシンのバランスを搅乱		生体内のオーキシンのバランスを搅乱	脂質の生合阻害
效果	発現	7～14日			1～2日	速効性
	完成	35～60日			3～4週間	20日程度
	残効					無し
	芝安全性	良			高温注意	芝の生育期に散布すると薬害あり
流通	石原バイオ	日産化学、石原、丸和	理研、丸和バイオケミカル、ホクサン、エンバイロサイエンス	東洋グリーン、ニチノー緑化	日産化学	石原バイオサイエンス
包装	5L×4、1L×12	1L×10	5L×4、500ml×20	10L×2、500ml×20	2L×6	500ml×20
A価/kg.L	3,800	10,150	2,970	4,500	2,930	10,032
¥/m ²	1.5～4.8	2～6.1	1.5～3	1.8～3.6	1.5～4.4	1.5
備考						水源地・養殖池等に飛散・流出しない様十分注意する。第4類第2石油類

**芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)**

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	インプールDF	ブロードスマッシュSC	グラッヂ颗粒水和剤	ダブルアップDG	フルスロット颗粒水和剤	モニメント颗粒水和剤
一般名	ハロスルフロンメチル	フロラスマム	エトキシスルフロン	シクロスルファムロン	ベンフレセート	トリフロキシスルフロンナトリウム塩
有効成分含有量	75%	4.5%	60%	66%	30%	75%
メーカー	日産化学	コルテバ	バイエルクロップサイエンス	BASF	日本曹達	シンジェンタ
	日産化学	コルテバ	エンバイロサイエンス、三井化学クロップ&ライソリューション、日本曹達	BASF	日本曹達	シンジェンタ
試験名		DEH-115ゾル	HAS-953	AC-414		NOJ-120
登録年月日	平成11年2月8日	平成12年1月13日	平成12年6月29日・平成21年11月18日	平成14年2月1日	平成18年10月4日	平成19年4月11日
登録番号	20153	20315	20393-22519	20766	21802	21948
登録上	作物名	日本芝*、西洋芝(ベント・ブルー)**	日本芝、西洋芝(ブルー)	日本芝(コウライ)、西洋芝(ブルー・ベント)	日本芝、西洋芝(ブルー・ライ)	西洋芝(ベント*・ブルー**)、日本芝、西洋芝(バーミュータ・グラス)
	雑草	広葉雑草*・**、ヒメクグ*、ハマスゲ*	一年生広葉雑草、多年生広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草、ヒメクグ、ハマスゲ	一年生広葉雑草	スズメノカタビラ*・**、一年生イネ科雑草*、メヒシバ*
	使用時期	芝生育初期～生育期(雑草発生前～生育初期)、ヒメクグ:芝生育初期～生育期(雑草発生前～生育期)	日本芝・西洋芝:芝生育期(雑草生育初期)秋～冬期(雑草生育初期)	春・秋期雑草発生前(芝生育期)、雑草生育初期(3葉期まで)	芝生育期(雑草発生前～生育初期)	春夏期雑草発生初期～3葉期*・**・***、秋冬期雑草発生初期～3葉期*
	薬量	0.03～0.05g/m ²	0.02～0.04ml/m ² (一年生広葉)、0.04～0.08ml/m ² (多年生広葉)	0.015～0.03g/m ² (日本芝:一年生広葉)雑草発生前、0.03～0.06g/m ² (日本芝・西洋芝:一年生、多年生広葉)雑草発生初期、3葉で0.045～0.075g/m ² (日本芝・西洋芝ヒメクグ・ハマスゲ)生育期、3葉まで	0.03～0.06g/m ²	0.2～0.3g/m ² *・**、0.1～0.2g/m ² *、0.15～0.3g/m ² (メヒシバ)
	水量	0.2～0.3L/m ²	0.15～0.2L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.25L/m ²	0.1～0.2L/m ²
	使用方法	茎葉兼土壤	雑草茎葉散布	散布	全面土壤散布	雑草茎葉散布又は全面土壤処理
	急性経口毒性 LD50(mg/kg)	普:ラット10,000以上(原体)	普:ラット>5,000	普:ラット♀2,910	普:ラット5,000以上	普:ラット♀2,000
	魚毒性TL _m (ppm)	A:コイ100以上(原体)	コイ>1,000	コイ572(48h)	A:コイ100(製剤)	A:コイ35.00
水溶解度	36	0.084(pH5)～94.2(pH9)(原体)	135.3(pH7)	0.34(20°C)	0.261	25,700(25°C、pH7.4)
半減期	7～30日	4～19日		7～18日	約11～24日	
雑草スペクトラム	広葉、ヒメクグ、ハマスゲ	一年生・多年生広葉	広葉、カヤツリグサ	広葉全般	スズメノカタビラ、一年生イネ科、メヒシバ	イネ科、広葉、カヤツリグサ科
樹木等への影響	ドリフト注意	ドリフト注意	ドリフト注意	安全性大	ドリフトに注意	ドリフト注意
洋芝への影響	ライグラス以外は安全	安全性高い	安全性高い	薬害無し	芝の状態により薬害発生する場合有り	寒地型西洋芝に強い薬害有り
作用機作	アセトラクトート合成酵素阻害、茎葉・根部吸収	アセトラクトート合成酵素阻害、茎葉・根部吸収	アセトラクトート合成酵素阻害	アセトトロキシ酸合成酵素阻害、茎葉・根部吸収	脂質の合成阻害による生育点での細胞分裂阻害	アセトラクトート合成酵素阻害
効果	発現	5～7日	1～2日	5～7日	1～2週間	7～14日
	完成	遅効性15～20日	秋処理4～6週間(春処理で2～3週間)	10～14日	3～4週間	1ヶ月
	残効	1～1.5ヶ月		2～3ヶ月	100～200日	
	芝安全性	日本芝は安全	大	安全性大	安全性大	日本芝は安全性大
流通	日産化学	丸和バイオケミカル	エムシー緑化、ニッソーグリーン	BASF	ニッソーグリーン	シンジェンタ特約店
包装	200g×5	250ml×12	100g×6	225g×6	100g×10	7.5g×12
A価/kg,L	80,000	45,080	126,500	63,555	135,000	1,144,000
¥/m ²	2.4～4	0.9～3.6	1.9～9.5	1.9～3.8	13.5～40.5	3.4～6.9
備考						スルホニルウレア系

**芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)**

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	デステニーWDG	シバゲンDF	スコリテック液剤	一本締液剤	ハーレイDF	芝用エコパートFL
一般名	ヨードスルフロンメチルナトリウム塩	フラザスルフロン	メコプロップPカリウム塩	メコプロップPカリウム塩	リムスルフロン	ピラフルフェンエチル
有効成分含有量	10%	25%	56.5%	56.5%	25%	2%
メーカー	(原体) バイエルクロップサイエンス	石原産業	ニューフーム	日本曹達	デュポン	日本農薬
	(登録) エンバイオサイエンス	石原バイオサイエンス	ニューフーム	日本曹達	丸和バイオケミカル	ニチノーブル
試験名	AEH-002		NP-63	NP-63	DPX-E9636	NHK-061
登録年月日	平成19年4月18日	平成20年4月23日	平成20年5月28日	平成20年5月28日	平成20年8月27日	平成20年11月19日
登録番号	21952	22150	22168	22169	22231	22300
登録上	作物名	日本芝	日本芝、西洋芝(バーミューダグラス)、センチビードグラス	日本芝、西洋芝(ブルー)	日本芝、西洋芝(ブルー)*	日本芝(コウライ)、西洋芝(ヘントグラス)
	雑草	一年生及び多年生広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草、ヒメクグ、ハマスゲ、スズメノヒエ	一年生及び多年生広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草、一年生イネ科雑草、苔類
	使用時期	雑草発生前～発生初期	雑草発生初期、秋冬期雑草発生前、センチビードグラス生育期	芝生育期(雑草生育期)	芝生育期(雑草生育期)、春夏期雑草生育期*	雑草発生撤期～生育初期 日本芝:芝休眠期(雑草生育初期)、ヘントグラス:春夏秋期芝生育期(雑草生育初期)、春夏期芝生育期(苔類生育期)
	薬量	0.015～0.02g/m ²	0.01～0.04g/m ²	0.25～0.5ml/m ²	0.25～0.5ml/m ² 、0.2～0.5ml/m ² *	0.005～0.015g/m ² 0.1～0.2ml/m ² (一年生広葉)、0.4～0.6ml/m ² (多年生広葉、一年生イネ科)、0.2～0.6ml/m ² (苔類)
	水量	0.2～0.3L/m ²	0.1～0.3L/m ²	0.2L/m ²	0.2L/m ²	0.1～0.2L/m ²
	使用方法	全面土壤散布	散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布
急性経口毒性 LD50(mg/kg)	普:ラット>5,000	普:ラット♂4,694・♀4,908(製剤)	普:ラット♂♀500～2,000	普:ラットLD50:♂♀500～2,000	普:ラット>5,000	普:ラット♂♀>5,000
魚otoxicity TL _m (ppm)	A:コイ117(LC50)	コイ>400(LC50)(製剤)(96h)、オオミジンコ11.6(EC50)(48h)	A:コイ1,000以上(LC)(製剤)(96h)	A:コイ1,000以上(LC)(製剤)(96h)	A:コイ>100(96h)	A:コイ>500(LC50)(96h)
水溶解度	0.16(20°C)	2.1mg/ml(pH7、25°C)(純品)	860(20°C)	860(20°C)	23.5(20°C)	0.05(25°C)
半減期		5～7日(原体)	2～3.5日	2～3.5日	10～27日(圃場)	
雑草スペクトラム	一年生広葉	一年生雑草から多年生広葉雑草、及びハマスゲ、ヒメクグなどの多年生カヤツリグサ科など	一年生、多年生広葉	一年生、多年生広葉	スズメノカタビラ他	広葉雑草全般、一年生イネ科、苔類
樹木等への影響	ドリフトでは影響小	ドリフト注意	影響有り、ドリフト注意	影響有り、ドリフト注意	ドリフト注意(薬害は基本的になし)	ドリフト注意
洋芝への影響	影響小(ライグラス注意)	薬害強	ブルーグラス選択性有	ブルーグラス選択性有	薬害強	ヘントには安全性高い、バーミューダには薬害有り
作用機作	アセトラクトート合成酵素阻害	茎葉、根部から吸収されALS阻害により殺草	生体内のオーキシンのバランスを擾乱	生体内のオーキシンのバランスを擾乱	アセトラクトート合成酵素阻害 茎葉・根部>土壤	プロトックス阻害
効果	発現	1～2週間	遅効性(効果発現には1週間程度)	1～2日	1～2日	7日前後
	完成	3～4週間	春夏期で20～30日、秋冬期で30～40日要する	1～2週間	1～2週間	20～40日
	残効	120日以上	標準薬量で春夏期で40日程度、秋冬期で120日程度	30～60日	30～60日	
	芝安全性	安全性高い	日本芝に対して安全性は高いが、萌芽期には薬害を生じるので注意する	安全性大	安全性大	安全性大(日本芝)
流通	エンバイオサイエンス	石原バイオサイエンス	理研グリーン	ニッソーグリーン	丸和バイオケミカル	ニチノーブル
包装	100g×6	20g×15、100g×3	1L×10	1L×10	10g×10	500ml×4
A価/kg,L	131,750	185,000	6,850	6,893	480,000	15,000
¥/m ²	2～2.6	1.9～7.4	1.7～3.4	1.4～3.4	2.4～7.2	1.5～9
備考	ペレニアルライグラスに影響大:散布注意					

芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)

商品名	アトラクティブ	アグリーン顆粒水和剤	プロードケア顆粒水和剤	サーベルDF	ユニホップ	トリビュートOD	
一般名	クロリムロンエチル	ピラゾスルフロンエチル	フルセトスルフロン	メトルフロンメチル	メタミホップ	ホラムスルフロン	
有効成分含有量	25%	70%	50%	60%	10%	2.2%	
メーカー	デュポン	日産化学	エス・ディー・エス	FMC	東部韓農、住商アグロ	バイエルクロップサイエンス	
	デュポン、丸和バイオケミカル	日産化学	エス・ディー・エス	FMC、丸和バイオケミカル	丸和バイオケミカル	エンバイロサイエンス	
試験名	DPX-F6025	NC-625	LNS-001	DPX-T76	SAH-001	BEH-447	
登録年月日	平成21年2月18日	平成21年3月18日	平成21年6月4日	平成21年12月2日・平成30年6月27日	平成23年4月4日	平成23年4月7日	
登録番号	22342-22343	22358	22387	22529-24092	22914	22918	
登録上	作物名	日本芝	日本芝、西洋芝(ベントグラス)	日本芝、西洋芝(コウライシバ)、 西洋芝(ベント・バーミューダ・ケンタッキーブルー)	日本芝、西洋芝(ベニアル・ブルー)	日本芝*、西洋芝(バーミューダグラス)**	
	雑草	一年生及び多年生広葉雑草	日本芝、西洋芝:一年生及び多年生広葉雑草、 日本芝(コウライシバ)ヒメクグ、ハマスゲ*	日本芝、西洋芝:一年生及び多年生広葉雑草	一年生イネ科雑草(コウライ)、 メヒシバ(ベント・ブルー・ライ)	一年生雑草、多年生広葉雑草***、 スズメノヒエ類・チガヤ*	
	使用時期	雑草発生前～生育期	雑草生育期、春夏期雑草生育期*、 秋冬期雑草生育期(西洋芝)	ヒメクグ・ハマスゲ*、芝生育期(雑草発生初期)、 イネ科:春夏期芝生育期(雑草発生初期)、広葉:芝生育期(雑草発生前～発生初期)、芝生育期(雑草発生初期)～春夏期芝生育期(雑草発生初期)	春夏期芝生育期雑草発生始期～生育初期、秋冬期雑草発生始期～生育初期(日本芝)、秋冬期雑草発生始期(西洋芝)	春夏期(芝生育期、雑草生育期)	春夏期芝生育期(雑草発生初期～生育期)、 秋冬期芝生育期(雑草発生初期～生育期)、 スズメノヒエ類・チガヤ:芝生育期(雑草生育期)
	薬量	0.02～0.04g/m ²	0.02～0.03g/m ²	0.03～0.06g/m ²	0.001～0.002g/m ² (日本芝春夏期)、 0.002～0.004g/m ² (日本芝秋冬期)、 0.001～0.002g/m ² (ベニアルライ・ブルー)	0.1～0.3ml/m ²	春夏0.2～0.25ml/m ² 、秋冬0.15～0.25ml/m ² 、 スズメノヒエ類・チガヤ0.2～0.3ml/m ²
	水量	0.2L/m ²	0.15～0.3L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.15～0.2L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.1～0.2L/m ²
	使用方法	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	散布	散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布又は全面散布
急性経口毒性 LD50(mg/kg)	普:ラット5,000以上	普:ラット>2,000	普:ラット♀>5,000	普:ラット>5,000	ラット♀>2,000	普:ラット♀>2,000	
魚otoxicity TL _m (ppm)	コイ1,000以上(96h)	コイ>20(96h)	A:コイ199(LC50)	A:コイ>1,000(96h)	B:コイ3.38(96h)	A:コイ26.8(96h)	
水溶解度	8.55(20°C)CPH5.29	9.76(20°C)	114	75.6	6.87	37.2mg/L	
半減期		5～7日		17日(火山灰砂壤土)、7日(沖積埴土)			
雑草スペクトラム	広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草、 ヒメクグ、ハマスゲ*	広葉全般	イネ科、カヤツリグサ科除く広葉全般	一年生イネ科	スズメノカタビラ、ナデシコ科等	
樹木等への影響	ドリフト注意	ドリフト注意	安全性高い	なし	安全性大	直接散布でなければ問題なし	
洋芝への影響	影響小(直接散布しない)	なし	影響小(ライグラス注意)	暖地においては種類によって薬害有	薬害なし	ベントグリーン回りの散布はしない	
作用機作	アセトアラクト酸合成酵素阻害	ALS阻害(スルホニルウレア)	アセトアラクト酸合成酵素阻害、 茎葉・根部吸収	アセトアラクト酸合成酵素阻害 茎葉・根部吸収	脂肪酸合成阻害	ALS阻害剤	
効果	発現	1週間程度	5～7日	1～2週間	3週間	SU剤としては早い	
	完成	3～4週間	遅効性20～30日	3～4週間	1.5ヶ月	10日～14日程度	SU剤としては早い
	残効	120日～200日			1ヶ月		土壤残効は短い
	芝安全性	安全性大(日本芝)	安全性大	安全性高い		日本芝及び西洋芝に安全 (ティフトンを除く)	日本芝には安全だが、 高温時に黄化の場合あり
流通	丸和バイオケミカル	シンジエンタ特約店	エス・ディー・エス	丸和バイオケミカル	丸和バイオケミカル	エンバイロサイエンス、理研グリーン	
包装	150g×6	50g×20	150g×10	10g×10	500ml×2	1L×6	
A価/kg,L	85,400	132,000	105,000	1,200,000	105,000	14,200	
¥/m ²	1.7～3.4	2.6～4	3.2～6.3	1.2～4.8	10.5～31.5	2.1～4.3	
備考				SU剤	ティフトンに対して影響あり	危険物:第4類第3石油類	

**芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)**

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	アシュラスター液剤	バサグラントーフ	ティアラフロアブル	エンドタールK液剤	アミカル顆粒水和剤	シバキープセイバー
一般名	アシュラム	ベンタゾン(ナトリウム塩)	フルフェナセット	エンドタールニカリウム塩	アミカルバゾン	イマゾスルフロン
有効成分含有量	MDBAカリウム塩 30% 3.3%	44%	42.4%	2.11%	70%	40%
メーカー	(原体) シンジェンタ、保土谷UPL (登録) シンジェンタ、保土谷UPL、UPLジャパン	BASF	バイエルクロップサイエンス	ユーピーエル	アリスタ	住友化学
試験名	SYJ-229	BAH-1004	BEH-1301	SW-989(L)	SB-208	TH-913H4
登録年月日	平成24年5月16日	平成25年12月18日	平成27年11月25日	平成29年11月20日	平成28年11月14日	令和1年7月10日
登録番号	23081・23082・23083	23400	23750	23994	23852	24243
登録上	作物名 日本芝	日本芝	日本芝	日本芝(コウライ)、西洋芝(ブルー・ベント)	日本芝、西洋芝(ハーミュータグラス)	日本芝、日本芝(コウライ)、西洋芝(ブルー・ベント)
	雑草 一年生雑草雑草	一年生雑草(イネ科を除く)、ヒメクグ	一年生雑草	スズメノカタビラ	一年生及び多年生広葉雑草	日本芝:一年生及び多年生広葉雑草・一年生広葉雑草・ヒメクグ、コウライ:多年生広葉雑草、西洋芝(ブルー):一年生広葉雑草・ヒメクグ、西洋芝(ベント):一年生広葉雑草・ヒメクグ・コケ類
	使用時期 秋～春期(雑草発生初期)*、雑草発生初期	春夏期雑草生育期(芝生育期)	秋冬期芝生育期(雑草発生初期)	雑草生育期(コウライ:芝休眠期、ブルー:芝生育期、ベント:春夏期芝生育期)	芝生育期(雑草発生初期)、春夏期芝生育期(雑草発生初期)(西洋芝)	芝生育期(雑草発生前)(一年生及び多年生広葉)、芝生育期(雑草発生初期)、春夏期芝生育期(コケ類発生初期)
	葉量 0.75～1.5ml/m ² *、0.45～0.75ml/m ²	0.5～1ml/m ²	0.15～0.3ml/m ²	8～12ml/m ² (コウライ)、2～6ml/m ² (ブルー)、1～2ml/m ² (ベント)	0.03～0.05g/m ²	0.2～0.4ml/m ² 、0.2ml/m ² (西洋芝)
	水量 0.2～0.3L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.1～0.3L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.2～0.3L/m ²
	使用方法 雑草茎葉散布又は全面土壤散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布又は全面土壤散布	雑草茎葉散布	散布	全面土壤処理(雑草発生前)、雑草茎葉散布又は全面処理
急性経口毒性 LD50(mg/kg)	普:ラット♀>2,000	普:>1,000	普:ラット500～1,000	普:ラット♂3,539	普:ラット2,000	普:ラット2,715
魚毒性TLm (ppm)	コイ>1,000(96h)	コイ>110(LC50)(96h)	コイ43.5(96h)	コイLC50>1,000(96h)	コイLC50:509(96h)	コイ>50
水溶解度	6g/L(MDBA)、590g/L(アシュラム)	570mg/L(20°C)	56mg/L	>650g/L(25度)	4.6g/L(20°C)	155.6mg/L(20°C)
半減期		7～14日		2～10日(圃場)※エンドタール酸として		約1日
雑草スペクトラム	一年生イネ科雑草から広葉雑草まで	一年生雑草(イネ科を除く)、ヒメクグ	一年生雑草	スズメノカタビラ及び一年生雑草	一年生及び多年生広葉雑草	広葉雑草全般
樹木等への影響	直接薬液がかかると影響あり特にフジは注意	ドリフト注意		ドリフトに注意	ドリフトに注意	ドリフト注意
洋芝への影響	あり	使用しない	使用しない	一過性の葉焼けが生じる場合がある		ライグラスに薬害の可能性あり
作用機作	オーキシン作用の攪乱、葉酸の生合成阻害による核酸合成の低下	光合成阻害型	超長鎖脂肪酸生合成阻害	細胞分裂阻害	光合成阻害	ALS阻害
効果	発現 10～20日	2～3日	遅効性	2～3日	1～2週間	1週間程度
	完成 30～60日	1～2週間	30～60日	1週間	3～4週間	2週間程度
	残効			短い	90日程度	2か月以上
	芝安全性 高温期の散布は黄化することがある	高温時注意	十分に活着した日本芝に使用する	一過性の葉焼けが生じる場合がある		安全性大
流通	シンジェンタ特約店	BASF、丸和バイオ	エンバイロサイエンス	エムシー緑化	東洋グリーン	レインボーユニット
包装	1L×12	1L×12	1L×6	2L×6	250g×8	500ml×8
A価/kg.L	4,250	5,100	9,435	4,485	51,240	14,660
¥/m ²	1.9～6.4	2.6～5.1	1.4～2.8	4.5～53.8	1.5～2.6	2.9～5.9
備考						

[登録順]

芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

商品名	アップデート	トリトンSC
一般名	イマザキン	フェンキノトリオン
有効成分含有量	19%	18.5%
メーカー	(原体) アグロカネショウ (登録) アグロカネショウ	クミアイ化学 理研グリーン
試験名		RGH-1601SC
登録年月日	令和4年4月20日	令和5年11月8日
登録番号	24627	24798
登録上	作物名	日本芝(コウライシバ)、西洋芝(ベントグラス)
	雑草	日本芝:ヒメクグ・一年生広葉雑草、西洋芝:ヒメクグ
	使用時期	一年生雑草:ヒメクグ:芝生育期(雑草生育期)、 ハマスケ:春夏期芝生育期(雑草生育期)
	薬量	0.2~0.4ml/m ² (一年生雑草)、0.3~0.5ml/m ² (ヒメクグ・ハマスケ)
	水量	0.25L/m ²
	使用方法	雑草茎葉散布
急性経口毒性	普:ラット>5,000	普:ラット♀>2,000
魚毒性TL _m (ppm)	コイ>750(96h)	コイ>107(96h)
水溶解度	58.3mg/L(イマザキン)	17.3mg/L(20°C、純水)
半減期	20日(火山灰・埴壤土)16日(洪積・砂壤土)	
雑草スペクトラム	広葉、ヒメクグ、ハマスケ	ヒメクグ、一年生広葉雑草
樹木等への影響	影響小	影響有り、ドリフト注意
洋芝への影響	影響あり	安全性高い
作用機作	ALS阻害	4-HPPD阻害
効果	発現	2週間程度
	完成	約7日後から 4週間~6週間 1回目散布後3~4週+2回目散布後30~40日
	残効	
	芝安全性	高温時の散布は薬量により黄化することがある 日本芝に一時的な薬害(淡緑化~白化)リスクあり
流通	アグロカネショウ	理研グリーン
包装	1L×10	500ml×2
A価/kg.L	8,500	70,000
¥/m ²	1.7~4.3	7~14
備考		コウライグリーンでの散布、UVカット資材との近接散布はなるべく避ける